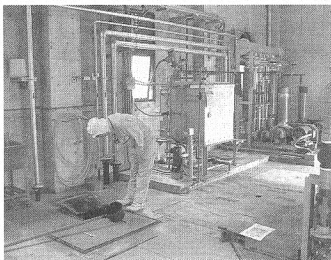


# 油脂含有廃水を分解処理

## 汚泥や悪臭の大幅削減へ

### ユーハイム



神戸本社工場の処理設備

洋菓子メーカーのユーハイム(神戸市、河本武社長)は、菓子製造工場3カ所で廃水処理設備「オイルバクターシステム」を導入、汚泥の発生を抑え、処

理コストを削減することに成功した。

オイルバクターシステムは、油脂分解力を強化した微生物「オイルバクター」の働きで、凝集汚泥を発生させる

事なく、低いランニングコストで油脂廃水を処理できるのが特長

だ。水処理プラントメーカーのケイエルプラント(東京・新宿)が開発、森本組(大阪市、環境営業部☎03・5155・6750)が販売を行っており、これまで食品工場を中心に約100件以上の納入実績を持つ。

ユーハイムでは1999年、千葉県の船橋工場に第1号機を採用した。1日当たりの廃水量は約80立方メートル。システム導入前は、薬剤を用いて水中の汚濁物質を凝集除去する加圧浮上方式で処理してきたが、▽多量の凝集汚泥が発生▽汚泥、廃水からの臭気▽装置のメ

ンテナンスが煩雑——などの問題があった。導入後の処理設備は、原水槽、スクリーン、油脂分解槽、接触ばつ気槽、強化微生物培養槽で構成。オイルバクター菌の作用により油脂分解槽で油脂を分解し、残ったBODを接触ばつ気槽で分解

する仕組みで、汚泥の発生はゼロになったという。

その後、滋賀工場(1日当たりの廃水量80立方メートル)、神戸本社工場(同60立方メートル)でも加圧浮上方式から変更し、オイルバクターシステムを採用。ユーハイム関西支社製造部生

産管理課設備技術係の伊井野則人主任は、「汚泥処分費のほか、運転管理者の人的費、凝集剤などのコストを削減できた。また、臭気の問題も驚くほど改善した。導入により、従業員の環境意識向上にもつながっている」と話している。

産管理課設備技術係の伊井野則人主任は、「汚泥処分費のほか、運転管理者の人的費、凝集剤などのコストを削減できた。また、臭気の問題も驚くほど改善した。導入により、従業員の環境意識向上にもつながっている」と話している。